

SICF21 グランプリアーティスト展

中山佳保子「SPOT - 視点、回転、発展」

会期 2021 年 6 月 14 日 (月) - 20 日 (日)

会場 ショウケース (スパイラル 1F)

身近な素材に潜む構造の特徴を引き出し
アートの領域まで引き揚げた、プラスチック段ボールの作品



スパイラルは、昨年 9 月に開催した SICF21 (第 21 回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル) に於いて出展クリエイター 85 組の中からグランプリに選ばれたアーティスト、中山佳保子による個展「SPOT - 視点、回転、発展」を 2021 年 6 月 14 日 (月) - 20 日 (日) にショウケース (スパイラル 1F) にて開催します。グランプリ受賞作《PLASTIC DAN-POLE》は、プラスチック段ボールを円形状にカットしたものを幾層にも重ね、黒い円柱を構成、一定の速度で回転させた作品です。プラスチック段ボールを重ねる際に、空洞の向きを規則的にずらして積層することで、回転した時に反対側が透けて白い光の帯が上下する様子は、神秘的で観る者を魅了します。身近な素材に潜む構造の特徴を上手く引き出して、アートの領域まで引き揚げた点が評価され、グランプリ受賞に至りました。本展では、SICF21 のグランプリ受賞時の円柱 3 本の構成を 10 本に拡大したフルバージョンを展開、私たちが普段見落としている光の存在をぜひ会場感じてみてください。この機会に、ぜひ掲載のご検討をお願いいたします。

ご掲載に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。
スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 浅野仁美
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848
E-mail press@spiral.co.jp SPIRAL WEB <http://www.spiral.co.jp/>

SICF SPIRAL INDEPENDENT CREATORS FESTIVAL **spiral**

本展の見どころ



《PLASTIC DAN-POLE》部分

本展タイトル「SPOT」が意味する通り、中山佳保子は身近な素材や景色に潜む、ほんの一点、一箇所、一片の妙を見抜き、形から「視点」をつくり出します。禁欲的とも言えるほどに装飾性や演出を排し、素材の個性や物質の特徴だけで構成された形。私たちが暮らす世界には、出会わなかった光、見落としている線の存在が無数にあるのだと気づかされます。会場の外の青山通りから、すぐ近くから、色々な角度からご覧いただき、あなただけのSPOTをぜひお楽しみください。

SICF21 審査員コメント

難波祐子／キュレーター

黒い円柱が回転して、光の帯が上下に動いてパターンを作る。近づいてみると、使われているのは、プラスチック段ボール。空洞が規則的に並んでいる、という素材の性質を活かして、円形状にカットされたプラスチック段ボールをある規則性をもって向きをずらしながら幾層にも積み重ねて、光が透ける塊を見事に作り出している。それが回転した時、まるで生き物のように光の帯が波打って見える。身近な素材に潜む構造の特徴をうまく導き出して、アートの領域にまで引き揚げた点は、高く評価したい。今回の受賞をきっかけに、更に新しい素材や手法にどんどん挑戦して、よりスケールの大きな驚きを生み出す作品を制作して頂きたい。中山さんの鋭い観察眼と丁寧な分析と実験に基づく制作態度は、それをきつと可能にしてくれると信じている。

林千晶／株式会社ロフトワーク代表取締役

プラスチック式ダンボールを重ねただけの作品。でもその積み重ねの背後には緻密な計算があり、まるで生きているかのように、光の模様が神秘的に浮き上がり、また沈みこみ、見る人を魅了します。デザイナー的ともいえるこの作品がグランプリをとったのは、彼女の「美」に対するこだわりを感じとったからと言えるでしょう。だからこそ、次に見せてくれるのは、デザインもアートも超えた、ただひたすら美しく、激しく心が揺さぶられる、そういう領域なのではと期待しています。

プロフィール



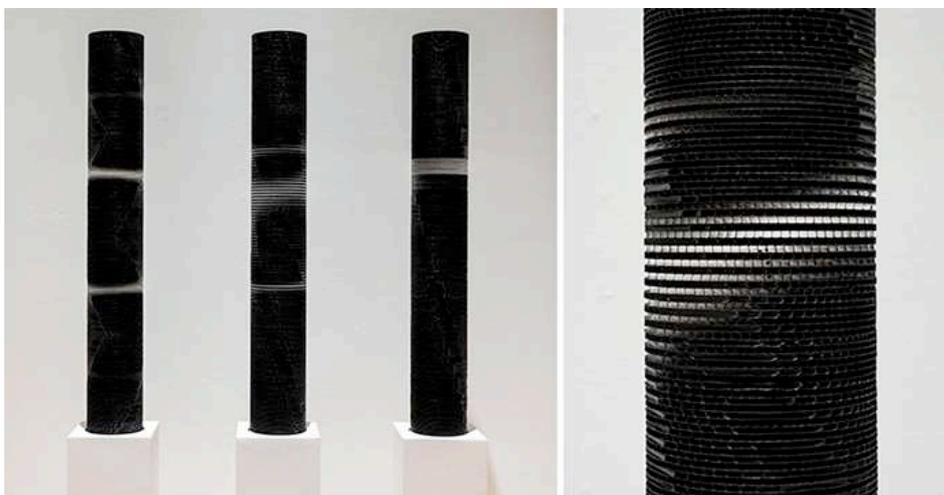
中山佳保子 Kahoko NAKAYAMA

1997年山口県生まれ。2020年筑波大学芸術専門学群卒業。

現在、筑波大学人間総合科学学術院芸術学学位プログラム構成領域在籍。

身近な素材に潜む、形や色、材料、テクスチャ（質感）など造形を構成する要素に着目し、その特性を強調することで新たな造形や現象を生み出す作品を制作する。主な活動に、筑波大学芸術専門学群卒業制作展（後期）出展（2020年、つくば美術館）、なないろスポーツフェスタ2019 駅伝トロフィー制作・Tシャツデザイン提供（2019年）など。

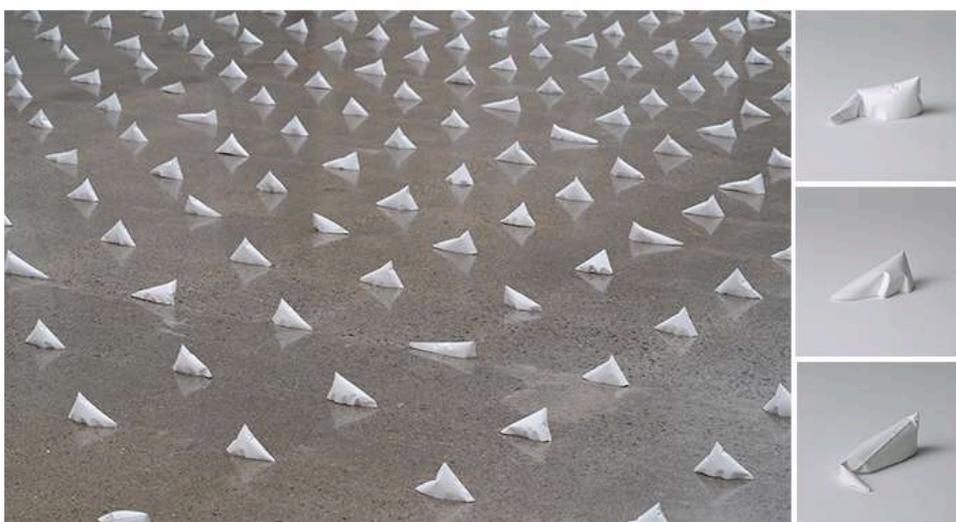
参考作品：中山佳保子 過去作品



《PLASTIC DAN-POLE》 (2019) 「SICF21 グランプリ受賞作品」プラスチックダンボール、回転台、木材 Photo:TADA(YUKA)



《NANAIRO SPORTS FEST 2019 WINNING TROPHY》 (2019) アクリル板、アルミ



《POLY BAG FAUNA》 (2021) 石膏

開催概要

SICF21 グランプリアーティスト展 中山佳保子「SPOT - 視点、回転、発展」

会期 2021年6月14日(月) - 20日(日) 11:00 - 19:00 会期中無休

会場 ショウケース (スパイラル 1F)

東京都港区南青山 5-6-23

東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅 B1、B3 出口すぐ

展覧会 URL <https://www.spiral.co.jp/topics/showcase/sicf21gp>

お問い合わせ 03-3498-1171 (スパイラル代表)

入場 無料

主催 株式会社ワコールアートセンター

企画制作 スパイラル

協力 株式会社中川ケミカル

*営業時間は状況に応じて変更する場合がございます。また、入場制限を行なう場合がございます。
 詳細および最新情報は、スパイラルウェブ (<https://www.spiral.co.jp/>) をご確認ください。

SICF22 参加クリエイター募集中



SICF21 会場風景 Photo: TADA(YUKAI)

SICF (スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル) は、スパイラルが若手作家の発掘・育成・支援を目的として2000年から開催しているアートフェスティバルです。公募によって選出された、さまざまなジャンルのクリエイターが一堂に会し、作品展示やプレゼンテーションを行ないます。会期中はアートファンをはじめ、ギャラリストやキュレーター、コレクター、バイヤーなどクリエイティブシーンで活動する関係者が訪れ、これまでに数多くの新しい才能が来場者との出会いを通し活躍の場を拓けてきました。会期の最後には、来場者の投票によって決まるオーディエンス賞をはじめ、各審査員賞、準グランプリ、グランプリを優秀作品に授与、顕彰として作品発表(販売)の機会を提供します。さらに、グランプリ受賞者にはスパイラルにて約1週間の個展を開催していただきます。今回は、従来のブース出展形式である「EXHIBITION」のほか、生活に携わる分野のものづくりを対象に、展示台と壁面を組み合わせる展示販売を行なう新部門「MARKET」を展開。さらに、日程ごとの会期を例年の倍の4日間に拡大し、より多くの出会いの場を提供していきます。開催に先立ち、既存の価値観にとらわれない意欲溢れるクリエイターを募集しています。

SICF22 (第22回 スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)

応募受付期間: 2021年4月1日(木) - 7月9日(金)

開催期間: [A 日程] 2021年9月18日(土) - 21日(火)

[B 日程] 2021年9月23日(木・祝) - 26日(日)

エントリーページ: <https://www.sicf.jp/entry/>